

流域の市町村では、下水道の普及・啓発を目的にした取り組みが行われています。
今回は、長野市と千曲市の取り組みを紹介します。



下水道出前教室を行っています

長野市上下水道局では、毎年小学校に出向いて、4年生を対象にした下水道出前教室を開催しています。

今年度も、出前教室を絶賛開催中。

水の循環に関する説明や、汚水処理する微生物の観察・水質実験を通して、下水道についての知識と関心を高めてもらっています。



長野市上下水道局
みすなちゃん



水の循環の説明



透視度計を使った実験

出前教室の感想です

- ・実験が詳しくておもしろかった。
- ・微生物のおかげで、おいしい水が飲める。
- ・分かりやすく説明してくれて楽しかった。
- ・下水道はとても大切なものだと思います。
- ・微生物が水をきれいにしていることに、おどろいた。
- ・水を大切に使おうと思いました。



長野市の水道は百周年を迎えました
大正四年四月一日に給水を開始した長野市の水道事業は、平成二十七年四月一日に百周年を迎えました。これからも皆様の生活を支える安全・安心な水道水をお届けします。



千曲市では、下水道のより一層の普及・啓発を目的に「千曲市魅(み)せる下水道プロジェクト」を立ち上げ、市民の皆さんに下水道の役割を再認識する「きっかけ」となるさまざまな活動を行なっています。活動の一環として、7月1日に国土交通省下水道企画課、県生活排水課職員らとともに市内の八幡小学校を訪ね、3・4年生を対象に「うんち大研究！下水道ワークショップ」を開催しました。

内容は、うんち探検隊ウンディーと共に「食べ物」「からだ」「排水と処理」を大きな水・資源の環境の中で考え、健康的な生活と下水道の役割について学ぶことができる体験学習で、トイレに流せない紙を選ぶクイズでは、子どもたちが水入りペットボトルに紙を入れて振り、水に溶けない紙を実感するなど、参加した小学生たちは興味を示していました。

これらの活動により、未来の水環境を担う子供たちが小学生の時から下水道について正しい理解を得て、さらに関心を深めてもらうことを期待しています。



八幡小学校で、授業を行う国交省職員等